



兼松株式会社

2026年3月期 第3四半期 決算補足説明資料

(見通しに関する注意事項)

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは、様々な要因により大きく異なる可能性があります。また、これらの情報は、今後予告なしに変更されることがありますので、本情報や資料の利用については、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行ってくださいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。なお、表示の数値は、億円未満を四捨五入しておりますので、個別数値と合計数値・増減額が一致しない場合があります。

2026年3月期第3四半期 決算概況

- 前年同期比で増収増益
- 親会社所有者帰属四半期利益は第3四半期の過去最高益を更新し、見通しに対する進捗率は81%と好調に推移
- 一株当たり年間配当金の見通しは、12月末の株式分割に伴い、期初見通しの115円から120円へ5円増配済み

2026年3月期第3四半期実績

(単位：億円)	25/3月期 3Q実績	26/3月期 3Q実績	前年 同期比	増減率
収益	7,817	7,877	+59	+1%
営業活動に係る利益	334	377	+42	+13%
親会社所有者帰属四半期利益	194	242	+48	+25%
(調整後) 営業キャッシュ・フロー ¹⁾	250	207	△43	
投資活動によるキャッシュ・フロー	44	△86	△130	
	25/3月末	25/12月末	前期比	
ネットDER ²⁾	0.69倍	0.62倍	△0.07倍	
自己資本比率 ³⁾	25.2%	27.8%	+2.6%	

1) (調整後) 営業キャッシュ・フロー = 会計上の営業キャッシュ・フロー ± 運転資本増減 - リース負債の返済

2) ネットDER=ネット有利子負債÷自己資本（親会社の所有者に帰属する持分合計）

3) 自己資本比率=自己資本÷総資産

2026年3月期通期見通し

(単位：億円)	26/3月期 通期見通し	3Q 進捗率
収益	11,000	72%
営業活動に係る利益	500	75%
親会社所有者帰属当期利益	300	81%
中間	期末	合計
一株当たり配当金 (株式分割前換算)	57円50銭 (62円50銭)	- (120円00銭)
連結配当性向		33.4%

損益の状況

2026年3月期第3四半期 実績

(単位：億円)	25/3月期 3Q実績	26/3月期 3Q実績	前年 同期比	増減率
収益	7,817	7,877	+59	+1%
売上総利益	1,129	1,237	+108	+10%
販売費及び一般管理費	△846	△886	△40	-
その他の収益・費用	52	26	△26	△51%
営業活動に係る利益	334	377	+42	+13%
利息収支	△37	△32	+5	-
受取配当金	12	10	△2	△16%
その他の金融収益・費用	△1	△2	△2	-
金融収益・費用	△26	△24	+2	-
持分法による投資損益	△12	9	+21	-
税引前四半期利益	296	362	+65	+22%
法人所得税費用	△98	△114	△17	-
四半期利益	199	247	+49	+25%
親会社所有者帰属 四半期利益	194	242	+48	+25%

■ 収益

ICTソリューションセグメントや電子・デバイスセグメントを中心に、59億円の増収

■ 営業活動に係る利益

販管費は増加したものの、売上総利益の伸長に伴い、42億円の増益

■ 税引前四半期利益

持分法による投資損失の改善もあり、65億円の増益

■ 親会社所有者帰属四半期利益

第3四半期過去最高益となる242億円
4ページ「セグメント別四半期利益」参照

2026年3月期見通し

(単位：億円)	26/3月期 通期見通し	3 Q進捗率
収益	11,000	72%
営業活動に係る利益	500	75%
税引前利益	460	79%
親会社所有者帰属当期利益	300	81%
連結配当性向	33.4%	

親会社所有者帰属当期利益の見通し

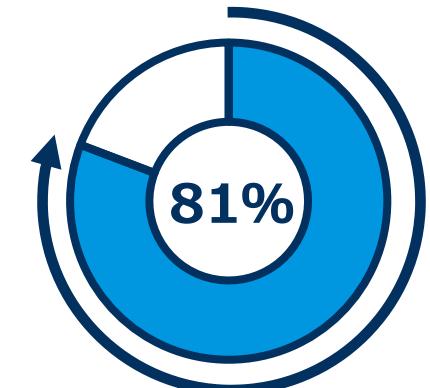
通期見通し300億円

4Q 58億円

1~3Q
242億円

3 Q進捗率

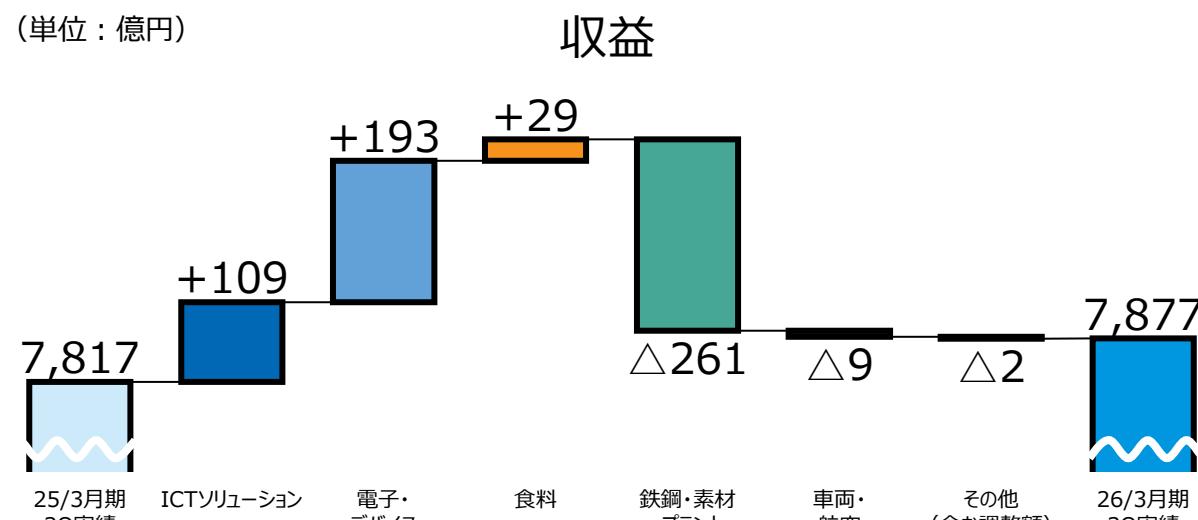
81%



セグメント情報

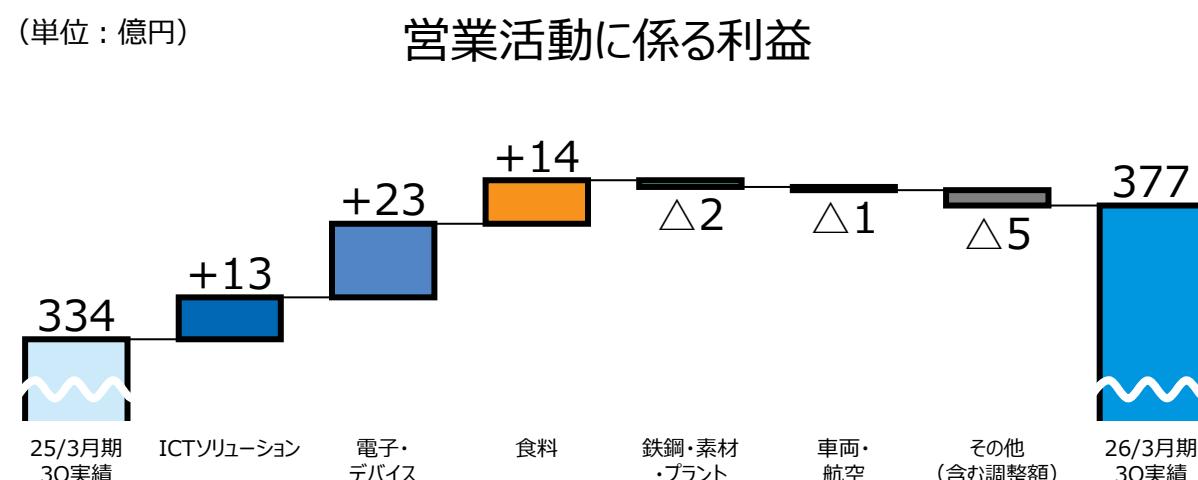
(単位：億円)	25/3月期 3Q実績	26/3月期 3Q実績	前年 同期比	増減率	26/3月期 通期見通し (セグメント別 修正後)	進捗率
ICTソリューション						
収益	653	762	+109	+17%	1,050	73%
営業活動に係る利益	91	104	+13	+15%	155	67%
親会社所有者帰属四半期利益	60	69	+9	+15%	105	66%
電子・デバイス						
収益	1,979	2,172	+193	+10%	2,750	79%
営業活動に係る利益	100	124	+23	+23%	145	85%
親会社所有者帰属四半期利益	67	81	+14	+21%	95	85%
食料						
収益	2,727	2,756	+29	+1%	3,850	72%
営業活動に係る利益	57	71	+14	+24%	88	81%
親会社所有者帰属四半期利益	23	42	+18	+80%	42	99%
鉄鋼・素材・プラント						
収益	1,509	1,248	△261	△17%	2,000	62%
営業活動に係る利益	48	46	△2	△4%	62	74%
親会社所有者帰属四半期利益	18	31	+13	+73%	35	87%
車両・航空						
収益	933	925	△9	△1%	1,300	71%
営業活動に係る利益	38	37	△1	△3%	52	71%
親会社所有者帰属四半期利益	25	22	△2	△10%	27	83%
その他（含む調整額）						
収益	16	14	△2	-	50	-
営業活動に係る利益	△0	△5	△5	-	△2	-
親会社所有者帰属四半期利益	1	△3	△4	-	△4	-
合計						
収益	7,817	7,877	+59	+1%	11,000	72%
営業活動に係る利益	334	377	+42	+13%	500	75%
親会社所有者帰属四半期利益	194	242	+48	+25%	300	81%

(単位：億円)



収益

(単位：億円)

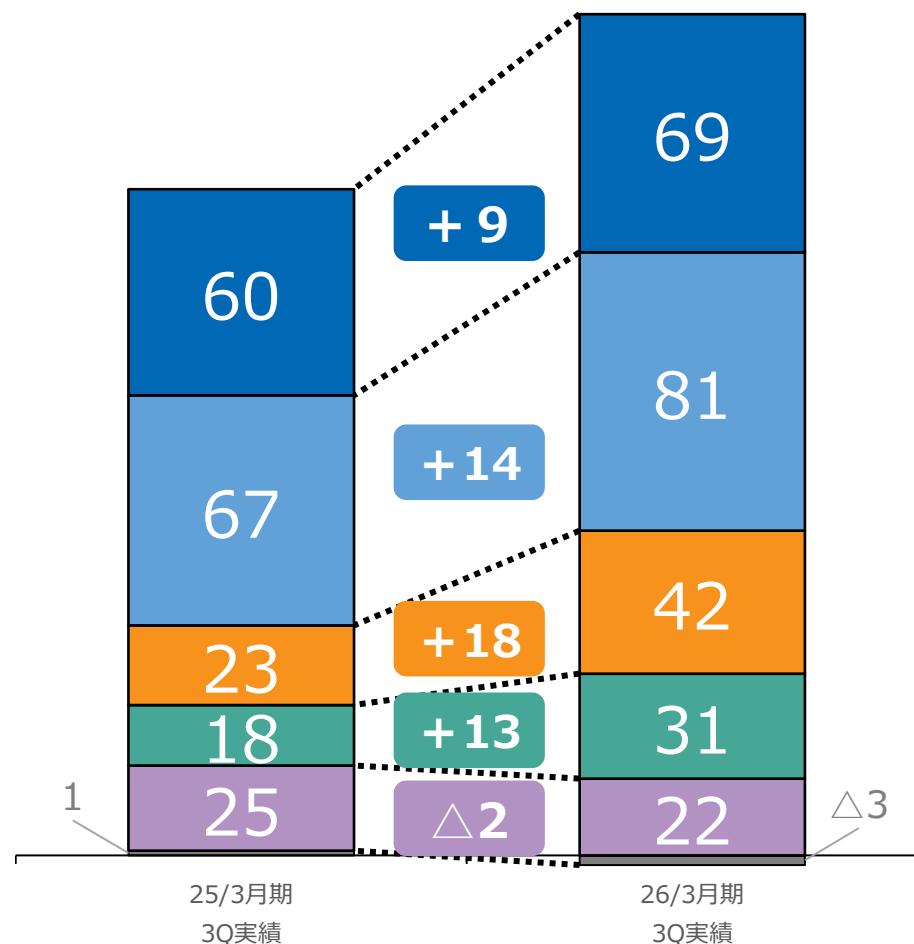


営業活動に係る利益

セグメント別四半期利益

親会社所有者帰属四半期利益

■ ICTソリューション ■ 電子・デバイス ■ 食料
■ 鉄鋼・素材・プラント ■ 車両・航空 ■ その他（含む調整額）
(単位：億円)



前年同期比の主な増減要因

ICTソリューション

9億円増益

- 防衛産業や半導体分野などの製造業向けのストレージやサーバー、流通業向けのネットワークに加え、サービス、セキュリティの需要が好調に推移したことにより、増益

電子・デバイス

14億円増益

- 電子機器・電子材料事業：M&Aの効果などにより、増益
- モバイル事業：販路拡大の効果もあり販売台数が増加したことに加え、法人向け事業の伸長もあり増益

食料

18億円増益

- 食品事業：飲料原料を中心とした取引が好調に推移し、増益
- 畜産事業：牛・豚肉からの需要シフトを背景に鶏肉取引が順調に推移し、増益
- 食糧事業：輸入米や食品大豆、飼料取引などが好調に推移し、増益

鉄鋼・素材・プラント

13億円増益

- 鉄鋼・钢管事業：前期に計上した持分法による投資損失の改善や、国内鉄鋼子会社の売却益もあり、増益
- プラント事業：前年同期に比べODA案件数が減少したことにより、減益

車両・航空

2億円減益

- 工作機械・産業機械事業：設備投資需要の減少に伴い減益

サブセグメント別情報

(単位：億円)	営業活動に係る利益				親会社所有者帰属当期利益					進捗率
	25/3月期 3Q実績	26/3月期 3Q実績	前年 同期比	25/3月期 3Q実績	26/3月期 3Q実績	前年 同期比	26/3月期 通期見通し (セグメント別修正前)	26/3月期 通期見通し (セグメント別修正後)		
ICTソリューション	91	104	+13	60	69	+9	105	105	66%	
半導体部品・製造装置	12	10	△2	8	6	△2	11	5	119%	
電子機器・電子材料	7	14	+7	4	9	+4	8	8	107%	
モバイル	82	100	+18	54	67	+12	76	82	81%	
電子・デバイス	100	124	+23	67	81	+14	95	95	85%	
食品	12	15	+4	6	10	+4	9	10	102%	
畜産	18	20	+2	6	10	+4	6	11	95%	
食糧	27	36	+8	11	21	+10	20	21	101%	
食料	57	71	+14	23	42	+18	35	42	99%	
鉄鋼・鋼管	13	20	+8	△7	14	+20	11	11	125%	
エネルギー・化学品・プラント	27	18	△9	18	13	△6	18	18	70%	
環境関連	9	8	△1	6	4	△1	6	6	71%	
鉄鋼・素材・プラント	48	46	△2	18	31	+13	35	35	87%	
航空宇宙	26	28	+1	17	17	+0	20	20	83%	
車両・車載部品	0	3	+2	1	1	△0	3	1	79%	
工作機械・産業機械	11	7	△4	7	5	△2	11	6	82%	
車両・航空	38	37	△1	25	22	△2	34	27	83%	
その他、消去	△0	△5	△5	1	△3	△4	△4	△4	-	
合 計	334	377	+42	194	242	+48	300	300	81%	

キャッシュ・フロー

■ 営業活動によるキャッシュ・フロー

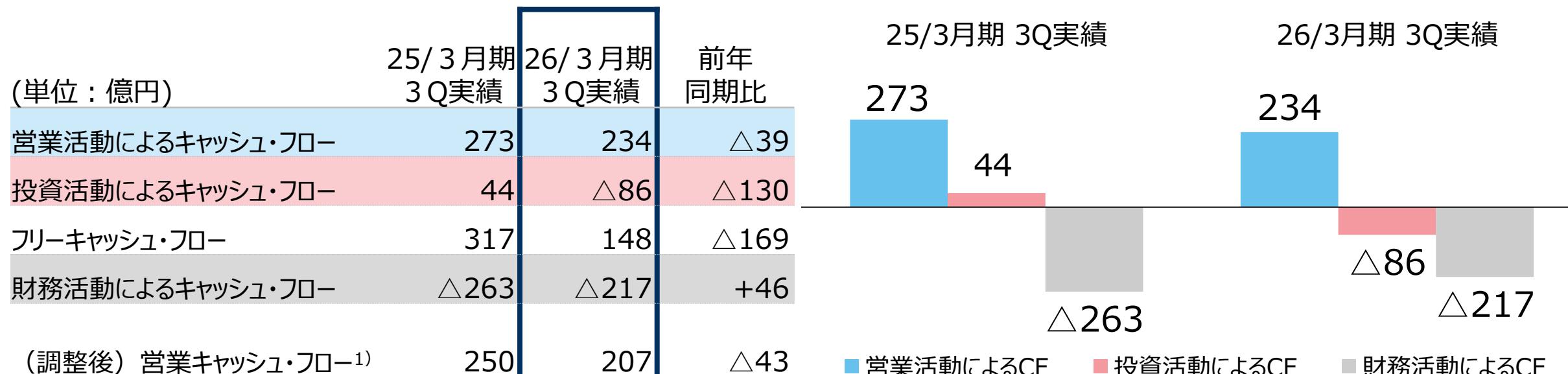
営業収入の積上げなどにより、**234億円のキャッシュ・イン**

■ 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得や子会社の取得などの事業投資の実行により、**86億円のキャッシュ・アウト**

■ 財務活動によるキャッシュ・フロー

借入金およびリース負債の返済や配当金の支払いなどにより、**217億円のキャッシュ・アウト**



1) (調整後) 営業キャッシュ・フロー = 会計上の営業キャッシュ・フロー ± 運転資本増減 - リース負債の返済

財政状態

■ 総資産

円安に伴う売掛債権の増加やその他の流動資産の増加などにより、**236億円の増加**

■ ネット有利子負債

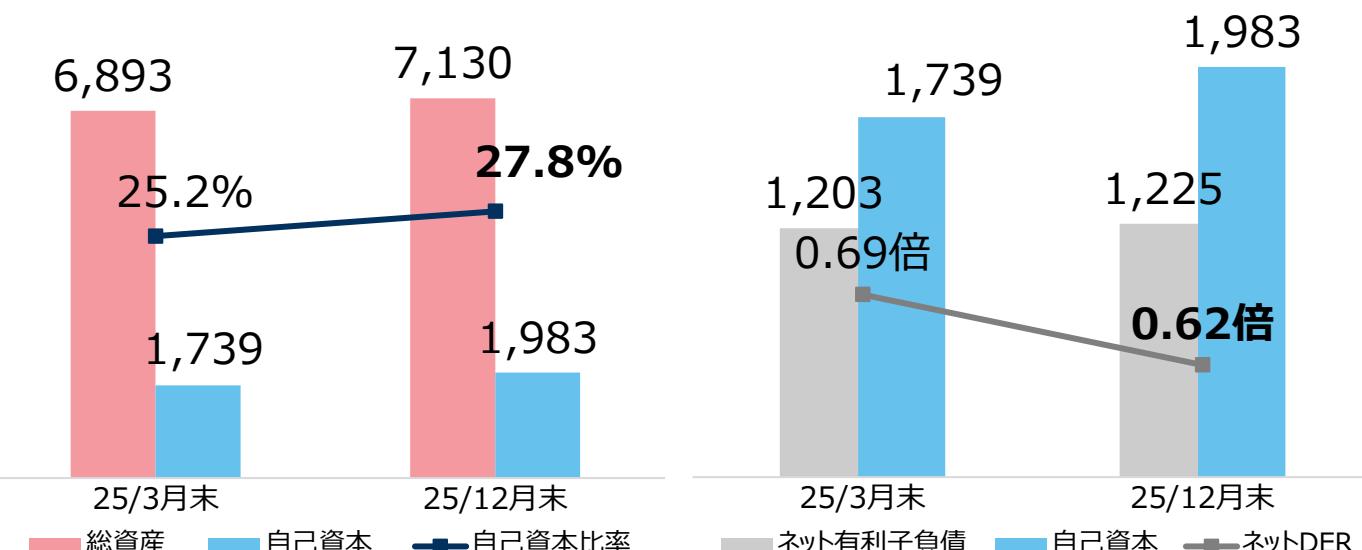
運転資金の増加や事業投資の実行などにより、**22億円の増加**

■ 自己資本

親会社の所有者に帰属する四半期利益の積上げなどにより、**244億円の増加**

自己資本比率は**27.8%**、ネットDERは**0.62倍**

(単位：億円)	25/3月末	25/12月末	増減
総資産	6,893	7,130	+236
ネット有利子負債	1,203	1,225	+22
自己資本 ¹⁾	1,739	1,983	+244
自己資本比率 ²⁾	25.2%	27.8%	+2.6%
ネットDER ³⁾	0.69倍	0.62倍	△0.07倍
PBR ⁴⁾	1.20倍	1.51倍	+0.31倍



1) 自己資本は資本の「親会社の所有者に帰属する持分」

2) 自己資本比率=自己資本÷総資産

3) ネットDER=ネット有利子負債÷自己資本

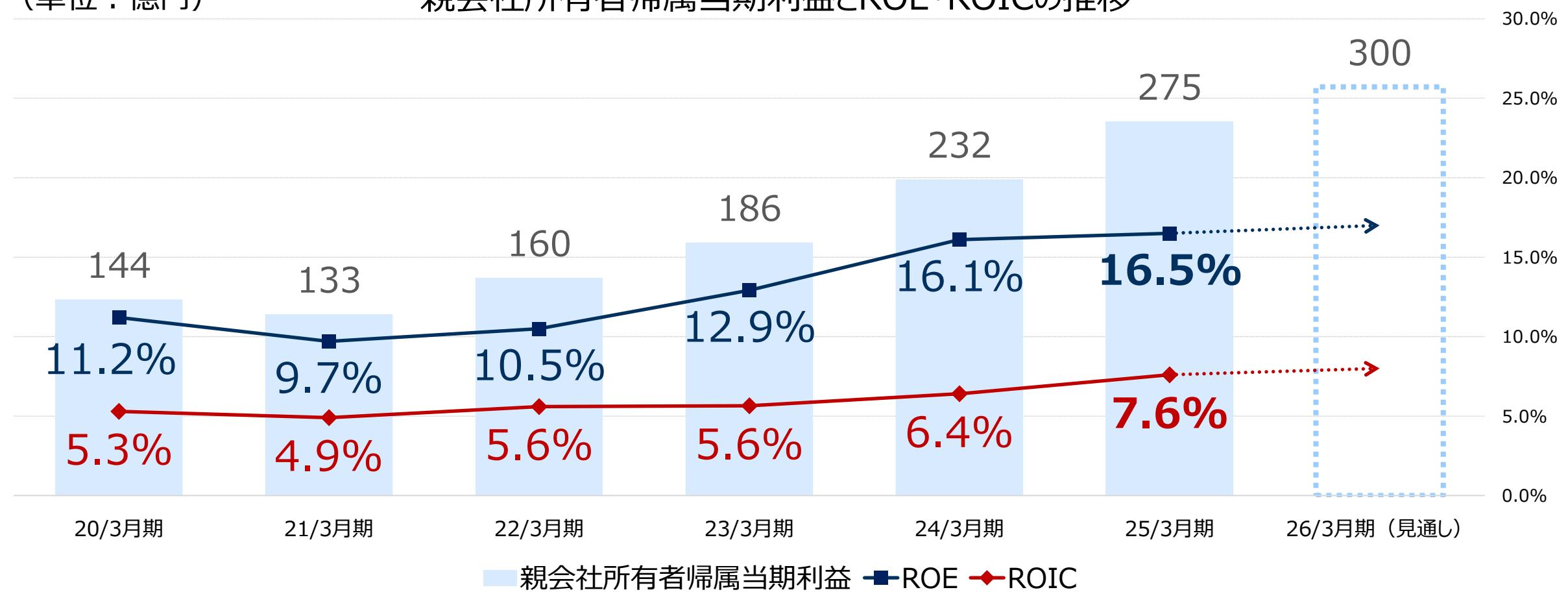
4) PBR=期末株価（東証終値）÷1株当たり親会社の所有者に帰属する持分

ROE・ROICの推移

■ ROE・ROICともに改善

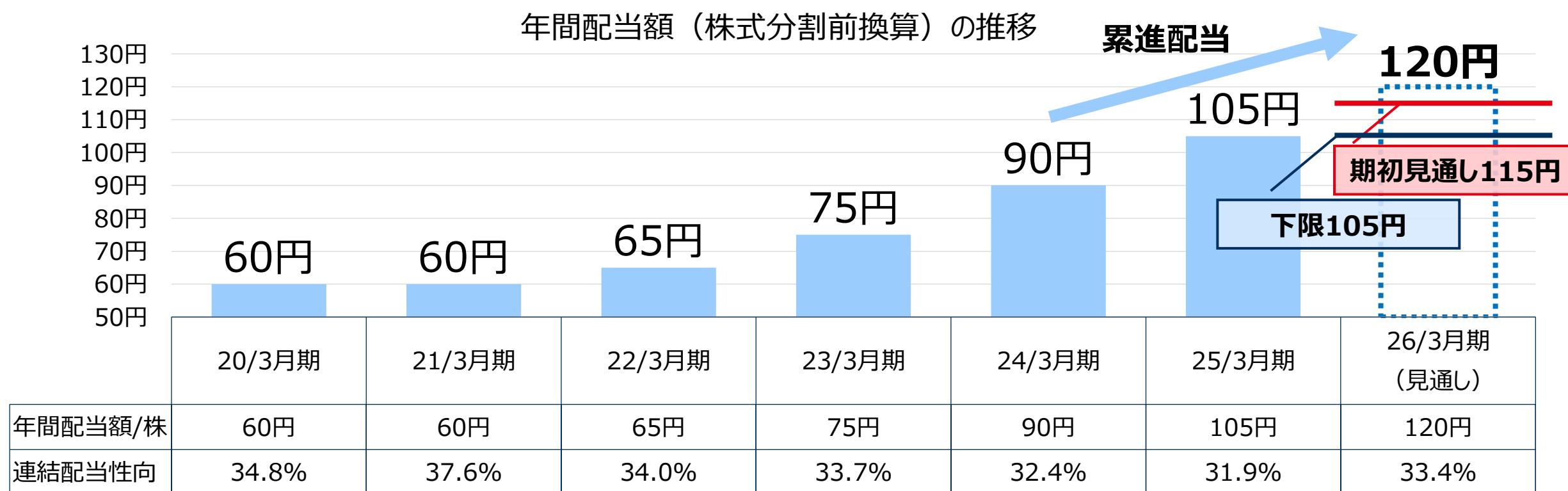
(単位：億円)

親会社所有者帰属当期利益とROE・ROICの推移



株主還元方針

- 累進配当を実施し、2026年3月期の配当金の下限を105円（株式分割前換算）に設定
- 総還元性向は30～35%を目標とし、2026年3月期の年間配当金は、前期から15円増配の120円（株式分割前換算）を予定
- 今後も当期利益の成長に応じて配当金を引き上げる方針





兼松株式会社